

今年度の職員の自己評価は以下の通りでした。内容共有し、次年度の保育に活かせるようにしましょう。

実施対象者 26 名 提出者 26 名

※但し、勤務形態によって、回答出来ない項目内容は無回答の為、回答人数は一定ではありません。

【自己評価】 1. よくできている 2. まあまあ 3. 普通 4. もう少し 5. できていない

業務に対する内容		1	2	3	4	5
勤務態度	1 就業上のルールを守ることができる。	20人	4人	2人	0人	0人
	2 その場にふさわしいあいさつや振る舞いができる。	7人	17人	2人	0人	0人
	3 日頃の健康管理に気を付けている。	7人	16人	2人	1人	0人
	4 締め切りのある提出物や業務、会議や打ち合わせの時間を守っている。	15人	7人	3人	0人	1人
	5 保育に適した服装、髪型、身だしなみなど清潔感のあるものを心掛け、安全性にも気を使っている。	6人	17人	3人	0人	0人
積極性	6 自分の能力を客観的に評価し、不十分な部分を改善するよう努めている。(具体的に)	1人	11人	13人	0人	1人
	7 自分なりに工夫しながら、業務を効率的に行っている。(具体的に)	3人	13人	8人	1人	1人
	8 自分がやってみたいことを言語化し、仲間の理解を得て、保育の中で実践している。	2人	12人	9人	3人	0人
	9 同僚の不適切な言動や保育には、言葉を選んで、きちんと注意することができる。	1人	6人	14人	4人	1人
	10 業務上の疑問や悩みを上司や同僚に質問や相談し、解決しようとする。	10人	10人	5人	1人	0人
協調性	11 他の職員と連携を取りながら協力して業務・保育を行える。	7人	15人	2人	2人	0人
	12 他の意見を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を伝えたりしている。	5人	12人	8人	1人	0人
	13 より良い職場環境になるよう自分にできることに取り組んでいる。(具体的に)	6人	12人	6人	2人	0人
	14 困っている職員に援助することができる。	5人	11人	9人	1人	0人
	15 園の人間関係や保育の中で、自己表現したり、自分らしさを発揮することができる。	5人	7人	11人	3人	0人
守秘義務	16 職員や園の批判を軽はずみにしたり、職員や園児のプライバシーを他に漏らしていない。	19人	6人	1人	0人	0人
	17 個人情報(保護者・園児・職員の個人情報や保育計画など)を園長の許可なく使用、開示、漏洩していない。	24人	2人	0人	0人	0人
	18 個人情報に関わる書類の管理を適切に行っている。	25人	1人	0人	0人	0人
	19 業務の中で知り得た子どもや職員の個人情報などについて、他の子どもに聞こえるところで話をしたりしない。	15人	10人	1人	0人	0人
	20 個人情報の記録が改ざんされないようになっている(修正テープ不可)	25人	0人	0人	1人	0人

リスク	21	事故発生時の対応・報告を適切に処理することができる。	11人	10人	3人	2人	0人
	22	ヒヤリハット・事故報告は迅速に報告している。	14人	7人	4人	1人	0人
	23	園内の施設や保育室、園外活動の危険について予想や対策をしている。	5人	16人	5人	0人	0人
	24	園外活動の際は、職員が一か所に固まらず、常に全体を把握できるような意識を持ち、実践している。	16人	9人	1人	0人	0人
	25	園外活動でバスを利用する際は、乗り降りの際の人数確認や忘れ物などの確認を怠らない。	19人	4人	2人	0人	1人
組織	26	当番や役割による業務を確実にやっている。	13人	9人	3人	1人	0人
	27	上司の指示、命令には責任をもって実行している。	17人	8人	1人	0人	0人
	28	各クラスのリーダーとしっかり連携がとれ、行事などの進行が円滑に行える。	12人	11人	1人	2人	0人
	29	レポートラインを守って、書類提出をしたり、報告、連絡、相談をしたりする。	16人	7人	3人	0人	0人
	30	園児や保護者のこと、クラス運営のことなど必要に応じて報告・連絡・相談できている。	15人	6人	20人	0人	0人
マナー・良識	31	来客や地域の方と笑顔で気持ちの良い挨拶ができる。	20人	10人	0人	0人	0人
	32	保護者対応や来客、電話等に明るく適切な言葉づかいで対応することができる。	15人	9人	2人	0人	0人
	33	園の消耗品や教材は節約して使い、私的に使っていない。	19人	6人	1人	0人	0人
	34	園内や園舎周りにゴミが落ちていたり、汚れていたりしたら、見て見ぬふりをせず、きれいにすることができる。	15人	8人	3人	0人	0人
	35	自分の考えを相手に伝える「自己主張」だけでなく、他人の考えに耳を傾ける「他者傾聴」もできる。	11人	9人	5人	1人	0人
姿勢	36	保育や子どもを取り巻く社会情勢などを日頃から得ようとしている。	8人	7人	9人	2人	0人
	37	保護者や地域の方、一般の方に向けて、ブログなど園のホームページに投稿し、積極的に園の取り組みを発信している。	2人	6人	8人	0人	2人
	38	保育以外に趣味や読書、社会的な活動などに興味をもち、リフレッシュするよう心掛けている。	8人	8人	10人	0人	0人
	39	園外においても当園の保育士としてみられることを自覚し振る舞いに気を付けている。	11人	7人	8人	0人	0人
	40	季節の変化などを感じ取る感受性を大切にしている。	11人	8人	7人	0人	0人

保育に対する内容		1	2	3	4	5	
保育理念・保育観	1	園の理念や目指す子ども像が言える。園の特色が保護者や外部の人に説明することができる。	3人	13人	6人	4人	0人
	2	児童福祉法の理念に基づき、子どもの最善の利益を考慮して保育し、子どもの生活と健全な発達を保証できるよう努めている。	7人	13人	4人	2人	0人
	3	あなたの保育が、子どもの生涯の基礎を培う極めて大切な役割を担っていると認識して保育をしている。	8人	14人	2人	1人	0人
	4	一人ひとりのありのままの姿を受けとめ、子どもが健やかに成長することを願っている。	16人	10人	0人	0人	0人
	5	保育所保育指針の「育ってほしい10の姿」を理解し、それを目指して保育しようと思っている。	3人	12人	10人	0人	1人
保育計画	6	園の理念や目指す子ども像をもとに、保育計画（年間計画、月案）を作成し、そのねらいにそった保育を行っている。	3人	6人	0人	0人	0人
	7	養護と教育が一体となった保育計画を立て、実践している。	2人	5人	2人	0人	0人
	8	季節感や伝統的な行事、食育、製作、運動遊び、自由遊びなど偏ることなく保育計画に取り入れるようにしている。	2人	5人	2人	0人	0人
	9	一人ひとりと集団の関係を考えて、クラス運営を行っている。	1人	3人	3人	2人	0人
10	保育計画や立案が子どもの姿、興味、関心に合っていたかという視点で自分の保育を評価反省し、次の計画に活かしている。(PDCAサイクル)	2人	6人	1人	0人	1人	
保育内容	11	登園時の視診を大切にし、体調の把握や緊急時の対応を保護者と確認してから、受け入れている。	10人	10人	3人	1人	2人
	12	授乳や離乳食、アレルギーや好みなど、家庭と連携を取りながら、一人ひとりの育ち具合や体調に合うように工夫している。	10人	11人	2人	1人	2人
	13	おむつ交換やトイレなど優しく声をかけたり、丁寧に清拭したり、排尿排便間隔や回数を把握している。	13人	8人	4人	0人	1人
	14	あなたは子どもと一緒に体を動かして遊んだり、歌ったりすることの重要性を理解し、楽しんでいる。	16人	8人	1人	1人	0人
	15	あなたは一人一人の子どもに目が届いていたか振り返り、これからの保育の課題を見つけることができる。	8人	14人	3人	1人	0人
保育環境	16	保育室内、園内、屋上園庭の美化、清掃、整理整頓に努め、清潔な環境のもとで保育できるようにしている。	6人	17人	2人	1人	0人
	17	絵本やおもちゃは子どもが取りやすいように配置し、十分に遊べるよう安全性や質、量に配慮して環境構成している。	2人	18人	3人	2人	1人
	18	子どもとともに生き物や植物を責任もって育んだり、その成(生)長を観察したりして、自然物や生命に触れらる環境を作っている。	3人	13人	5人	4人	1人
	19	衛生用品(石鹸、消毒、ペーパー類)などの補充を定期的に行い、切らすことがないようにしている。	10人	12人	2人	2人	0人
	20	活動に必要なスペースや時間、材料などを十分に確保、事前準備し、安全に留意して保育を行っている。	12人	10人	2人	1人	1人

保険・安全管理	21	子どもの健康、発育、発達状況を把握し、保護者や他の職員と共有しながら、日々の保育に活かしている。	9人	12人	4人	1人	0人
	22	午睡中は室内を子どもの顔が見える明るさに保ち、うつ伏せにならぬよう注意し、顔色、呼吸状態を時間ごとに、確実に確認している。	8人	13人	5人	0人	0人
	23	災害時の対応、救急対応、嘔吐処理の方法、消毒薬の使い分けなどを理解し、適切に対応できる。	6人	14人	4人	2人	0人
	24	タブレットや事務作業に集中してしまい、誰も子どもたちを見ていないという状況を作らない。	9人	14人	3人	0人	0人
	25	子どもの危険な行動には、理由を説明し「いけません」「やめなさい」などのはっきりした言葉で制止している。	15人	7人	4人	0人	0人
保護者・地域・関係機関との連携	26	保護者と園や家庭での様子を丁寧に伝えあい、子どもの育ちを共に考え、喜び合うことができる伴奏者になれている。	5人	12人	6人	1人	2人
	27	連絡帳やクラスだよりなどで、保護者の質問や不安にこたえたり、保護者が読んでその内容をよく理解できたりするような書き方ができている。	6人	11人	5人	2人	2人
	28	子どもの医療や保険に関すること、地域の子育て相談先や連絡先を把握している。	1人	2人	16人	7人	0人
	29	地域の自然や社会資源を保育計画の中で位置づけて活用している。	1人	20人	20人	4人	2人
	30	園の保育内容が就学に向けての準備やそれ以降の子どもの生活の基盤になることがわかる。また園での小学校接続への取り組みを理解している。	4人	20人	8人	2人	0人
人権	31	すべての子どもについて一人ひとりの存在とその人権を尊重している。	16人	8人	2人	0人	0人
	32	子どものおもむつ交換や着替えなどは人目につかないよう配慮したり、子ども同士で体を興味本位に触ったり、見せたりしないよう指導している。	11人	10人	4人	1人	0人
	33	日頃から子どもに身体的苦痛を与えたり、人格否定などの精神的苦痛を与えたりしないようにしている。	13人	12人	1人	0人	0人
	34	子どもの性差や個人差を理解し、固定的な性別役割分業を植え付けることがないように配慮している。	16人	8人	2人	0人	0人
	35	子どもや保護者の職業や国籍、宗教、文化の違いなどが多様であることを理解し、公平に接している。	20人	5人	1人	0人	0人
資質向上	36	あなたの保育実践について、園長、主任、他の職員が把握できるように保育日誌などを書いている。	4人	5人	2人	2人	2人
	37	他のクラスの保育について、疑問や感想、意見をお互いの向上のために、言葉に配慮しながら素直に述べることができる。	5人	10人	9人	0人	2人
	38	保育士（看護師）としての専門性を高めるために、自ら必要な知識や技能を身に付ける努力をしている。	2人	16人	6人	2人	0人
	39	保育の悩みや疑問を解決するために、研究本や専門書を読んだり、インターネットで調べたりしている。	5人	16人	4人	1人	0人
	40	園外の研修などに積極的に参加する意欲と探求心がある。	3人	10人	19人	2人	2人

今感じていることを言語化してみましょう

【この半年の自己評価を踏まえ、自分が改善したいこと】

- ・1日1日の保育に追われてしまい、保育環境が子どもたちの発達に合わさっていないと強く実感した。まずは、なぜ日々の保育に追われてしまうのか原因を把握した上で、今の子ども達の興味、関心に寄り添った環境づくりを行っていききたい。
- ・心に余裕を持って常に保育を行えるように計画的に進めていく。
- ・子どもとの関わりで、落ち着いて関わるができなかったので、寄り添える言葉かけが出来るように関わっていききたい。
- ・それぞれの子どもたちの性格や個性などもう少ししっかりと1人1人と向き合い、知っていききたいと思う。
- ・自ら学びに行く姿勢が低いと感じたので、研修などに参加し専門的な事を深く学びたい。

【この半年を通して自分が成長したと思うところ】

- ・まわりの状況をよく見ていま何をすべきか考え以前より動けるようになった。
- ・人前で話すことが苦手だったが、堂々と話せるようになった。
- ・自分意見を伝えたり、職員間のコミュニケーションを積極的にとりながら日々の保育や行事に参加できた。
- ・日々の保育の中で自分に出来る事を考えたり、事前準備など余裕を持って取り組めた。
- ・子ども達と一緒に様々な経験をすることでその時々1番のリスクを想定して行動や保育が出来るようになった。

【来年度、保育の中でやってみたいこと】

- ・より子どもたちの「やりたい」「やってみたい」を大切にできる保育。
- ・子ども達主導で1日の保育や話し合いでいろいろ決めていく。
- ・その日限りの遊びや活動ではなく、継続した内容を保育の中で行っていききたい。
- ・指先を使った教材や机上遊びなどをいろいろと工夫し、提案していく。
- ・園外活動や季節ならではの活動をもっと増やしていきたい。
- ・子どもたちも自分自身も楽しいと思える保育をしたい。

【来年度保育のことで学びたいこと】

- ・様々な子供たちと関わる機会が多い中どう接したら良いのか分からない事もあったので、コミュニケーションについてもう一度学びたい。
- ・子ども一人一人に寄り添った保育の仕方や子どもの特性に合わせた対応方法などを学びたい。
- ・その時々の子どもの姿に合わせた保育室の環境づくりを学びたい。
- ・他の先生たちから色々な保育の仕方を学びたい。
- ・保育の質を上げるために自園に足りない力や伸ばしたい部分を園外研修などを通してもっと学んでいきたい。